

平成 25年度決算の概要

健康保険（被服定）

収入		
科目	決算額 (千円)	被保険者 1人当たり額 (円)
保険料	16,259,301	519,633
国庫負担金収入・他	7,443	
繰入金(退職積立金)	1,021	
特定健康診査・ 保健指導補助金	6,325	
診療所収入	7,585	
雑収入	60,856	
<b>経常収入</b>		
経常収入合計①	16,342,531	
調整保険料収入	226,637	7,243
繰越金	227,000	
繰入金(別途積立金)	436,000	
災害臨時特例補助金	558	
財政調整事業交付金	151,734	
補助金等追加収入	16	
<b>経常外収入</b>		
経常外収入合計	1,041,945	
<b>収入合計③</b>	17,384,476	

支出		
科目	決算額 (千円)	被保険者 1人当たり額 (円)
事務費	271,372	8,673
保険給付費	8,059,923	257,589
法定給付費	7,830,893	250,269
付加給付費	229,030	7,320
納付金	7,095,371	226,762
前期高齢者納付金	2,898,367	92,629
後期高齢者支援金	3,414,541	109,126
退職者給付拠出金	782,374	25,004
老人保健拠出金	89	3
保健事業費	715,883	22,877
保険料還付金	1,153	
診療所費	332,071	10,613
連合会費	5,761	
積立金	43,374	
その他	2,420	
<b>経常支出</b>		
経常支出合計②	16,527,328	
調整保険料還付金	16	
営繕費	55,827	
財政調整事業拠出金	225,665	
補助金等追加支出	552	
<b>経常外支出</b>		
経常外支出合計	282,060	
<b>支出合計④</b>	16,809,388	

収入支出差引額(千円)(③-④)	575,088
経常収入支出差引額(千円)(①-②)	△184,797

→処分内訳	別途積立金(千円)	574,150
	財政調整事業繰越金(千円)	938

介護保険（介護勘定）

収入		
科目	決算額 (千円)	被保険者 1人当額(円)
介護保険収入	1,604,727	87,964
雑収入	116	
<b>収入合計⑤</b>	1,604,844	

支出		
科目	決算額 (千円)	被保険者 1人当額(円)
介護納付金	1,593,279	87,336
介護保険料還付金	108	
積立金	7,911	
<b>支出合計⑥</b>	1,601,298	

収入支出差引額(千円)(⑤-⑥)	3,546
------------------	-------

→処分内訳	準備金(千円)	3,546
-------	---------	-------

**収支 介護納付金も1億300万円増**  
 介護納付金は15億9300万円、前年度決算比1億300万円の大増となりました。一方、保険料率を据置きとした介護保険収入は、被保険者数が同比186名増により、同比1700万円増の16億500万円となりました。

**介護保険（介護勘定）**

○収入総額	16億500万円
○支出総額	16億100万円
○収支差引額（決算残金）	4000万円
*予算総額	16億9000万円

を積極的に活用され、健康増進、病気の予防により、医療費の節減にご協力をお願いします。

**収支 経常収支で1億8500万円の赤字**  
 健保組合の本来の事業に要する収支を経常収支といえます。平成25年度は、経常収入163億4300万円、経常支出165億2700万円となり、被保険者数の減少により差引1億8500万円の赤字となりました。  
 収支総額では、別途積立金等の繰入れにより、5億7500万円の収支差引残となり、別途積立金へ残金処分しました。  
 平成27年度には、後期高齢者支援金が全面報酬割りの算定となります。平成25、26年度は保険料率を据置きとしましたが、将来は再び引上げが必要となる見込みです。料率の引上げには限界があり、負担増に頼らない制度の見直しが必要状況です。みなさんにおかれては、引続き健診事業等を積極的に活用され、健康増進、病気の予防により、医療費の節減にご協力をお願いします。

は、人間ドック・生活習慣病健診等の健診受診者の増加等により、同比1億1300万円増の7億1600万円となりました。